平成18年11月２日

各　　位

会社名　永 大 化 工 株 式 会 社
代表者　取締役社長　和　田　正　行
（ＪＡＳＤＡＱ・コード　７８７７）
問い合せ先
役職・氏名　取締役 管理本部長　櫛　田　淳　一
電話０６－６７９１－３３５５

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年５月17日に公表しました平成１９年３月期（平成18年４月１日～平成19年３月31日）の中間期および通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

１．平成19年３月期中間期業績予想の修正（平成18年４月１日～平成18年９月30日）

(1) 連結　（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想（A）	4,687	20	4
今回修正（B）	4,525	31	△376
増減額（B－A）	△162	11	△380
増減率（%）	△3.5	55.0	—

(2) 単独　（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想（A）	4,611	13	5
今回修正（B）	4,479	30	△398
増減額（B－A）	△132	17	△403
増減率（%）	△2.9	130.8	—

２．平成19年３月期通期業績予想の修正（平成18年４月１日～平成19年３月31日）

(1) 連結　（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	9,580	105	59
今回修正（B）	9,392	64	△343
増減額（B－A）	△188	△41	△402
増減率（%）	△2.0	△39.0	—
ご参考 前期実績（平成18年３月期）	9,861	160	82

(2) 単独　　（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	9,407	52	21
今回修正（B）	9,274	92	△341
増減額（B－A）	△133	40	△362
増減率（%）	△1.4	76.9	―
ご参考 前期実績（平成18年３月期）	9,606	95	33

３．修正の理由

当中間会計期間において、国内自動車の販売が低迷したこと及び住宅関連部材の需要の落ち込み等により、当社グループの業績は、連結・個別ともに売上が減少する見込みでありますが、円安の影響を受け、為替相場の変動リスクを軽減する目的で行われた輸入決済にかかる通貨オプション取引に為替差益が生じたことなどから経常利益は増加する見込みであります。

また、当中間期末において発生した固定資産の減損損失及び関係会社出資金の評価損失の計上を行うことから中間純損失となる見込みであります。

通期業績につきましては、下半期においても引き続き、国内自動車の販売及び住宅関連部材の需要は低迷するものと考えられることから、当社グループの業績は、連結・個別ともに売上が減少するものと予想されます。また、経常利益につきましては、固定資産の減損処理による当該固定資産の減価償却費負担が軽減されたこと及び原材料の調達ルート見直しによる材料費の改善が予想されることから、個別では経常利益が増加する見込みであります。しかしながら、連結では海外子会社の業績不振により経常利益が減少する見込みであります。

また、当中間期末に発生した固定資産の減損損失及び関係会社出資金の評価損失の計上を踏まえ当期純損失となる見込みであります。

なお、固定資産の減損損失及び関係会社出資金の評価損失の発生に関する詳細につきましては、本日発表いたしました「減損損失および関係会社出資金の評価損に関するお知らせ」をご参照ください。

（注）業績の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社および当社グループ各社の業績の動向について、合理的に判断したものであり、実際の業績は様々な要因により変動する場合があることをご承知おきください。

以　　上